

分担金・拠出金の名称	コロンボ計画分担金	評価	C
拠出先の国際機関名	コロンボ計画		
国際機関の概要	1950年の英連邦外相会合を契機として、アジア・大洋州地域の域内開発に取り組むことを目的として1951年に設立された国際機関。ASEAN(除カンボジア)及びSAARC(南アジア地域協力連合)諸国等の27ヶ国が加盟。加盟国同士の南南協力の促進を目指している。		
拠出により我が国が期待する成果目標及び活動指標		達成状況	
1. (1) 成果目標:重要外交課題遂行における連携の強化 活動指標:コロンボ計画の活動を通じた我が国重要外交政策への貢献		○コロンボ計画のネットワークを用いて、南南協力を支援するとともに、麻薬対策をはじめとする地球規模課題の取組を支援している。 ○コロンボ計画では、行政・環境プログラム(加盟国公共セクターの人材開発)、長期奨学金プログラム(加盟国行政官の就学支援)、民間部門開発プログラム(中小企業振興)、麻薬アドバイザー・プログラム(特にアフガンにおける麻薬対策)などを実施している。	
(2) 成果目標:コロンボ計画の意思決定における我が国のプレゼンスを確保する 活動指標:協議委員会及び審議会での我が国プレゼンスの確保、我が国外交政策の反映		○隔年で開催される協議委員会及び年3回開催される審議会における各種意思決定に参加している。 ○在スリランカ大を通じてコロンボ計画事務局と頻繁な調整を行い、可能な限り日本の意向をコロンボ計画の政策に反映させるような関係を構築している。	
(3) 成果目標:コロンボ計画の事業や組織・財政マネジメントに対する影響力を確保する 活動指標:協議委員会及び審議会で提出される報告書等の評価、コロンボ計画による組織・マネジメント向上努力		○年3回開催される審議会では、加盟国代表団との協議を通じて限られたリソースの有効活用、具体的な成果を重視する組織運営の手法を導入しつつある。	
(4) 成果目標:コロンボ計画における邦人職員増強を図る 活動指標:日本人職員数の増加		○現在、日本人職員はいない。	
2. PDCAサイクルの確保		①Plan:協議委員会にて2か年予算案の策定及び承認。各加盟国には一律同額の分担金額が課される。 ②Do:分担金拠出。コロンボ計画による予算執行。年3回の審議会での議論や事務局との不定期の協議を通じて、コロンボ計画の活動をモニタリング。 ③Check:コロンボ計画による年次報告書、監査報告書により成果を評価。 ④Act:協議委員会及び審議会での議論や事務局との不定期の協議を通じ必要に応じて改善を提言。	
担当課・室名	国際協力局 国別開発協力第一課		